

石倉研究室での研究と実践の中心テーマ ～ 障害のある人の発達と生活を支援する ～

重い障害のある子ども達の療育に携わりたいと考えて理学療法を学び、子どもの発達を知る必要を感じて心理学を学び、社会福祉に携わることで生活を支えることを学び、今は特別支援にいます。肢体不自由児・者、知的障害児・者、重度重複障害児・者などの教育、福祉・医療・保健の現場、福祉計画など行政関係の仕事に携わってきました。最近、自立活動や協調運動についての研究・実践を多く行っています。

研究をしたい人、現場の先生たちと一緒に活動したい人、遊びを大事にしたい人は Welcome です！

1. 専門：リハビリテーション心理学、自立活動

2. 主な担当授業：肢体不自由児指導論、病弱児指導論、障害者福祉論

3. 最近、研究室で継続的に取り組んでいる主な研究テーマ

- ①小学校低学年児童の協調運動についての実践研究
- ②自立活動についての研究
- ③動作法と心理リハビリテーションについての研究
- ④重症心身障害児についての研究
- ⑤モンゴルや韓国の大学教員との共同研究



4. 最近のゼミ生（修士）の研究テーマ

- ◆小学校低学年児童に対する小集団運動プログラムの有効性についての検討
- ◆重度重複障害児の教科指導に携わる教員が抱える困難に関する研究
- ◆知的障害者の100m走疾走速度向上のためのトレーニングに関する研究
- ◆就学前の協調運動と入学後の行動特性及び読むこと・書くことの関係についての調査研究
- ◆小学校自閉症・情緒障害特別支援学級における「交流及び共同学習」についての研究
- ◆小学校特別支援学級における個別の指導計画にかかわる取り組みと校内体制について
- ◆場面緘黙に対する支援についての検討
- ◆日本と韓国の教師ストレスについての比較調査
- ◆高等教育機関における D&I の現状
- ◆鼻部皮膚温度を用いた超重症児の快状態の推定に関する研究
- ◆放課後等デイサービスにおける保護者ニーズと支援実態に関する研究



5. さらに詳しい情報は...

※石倉ゼミ・ガイド（石倉研究室での学びについて）は、研究室HP（右QRコード）を参照してください。

※研究室には抹茶を常備しています。抹茶を飲みに来てもらうだけの研究室訪問も歓迎します。不在のことも多いので、メール（kenji@hyogo-u.ac.jp）で確認をとってもらいと確実です。

